

2. 在宅医療・介護連携推進事業について

資料 2

項目	内容	主な取り組み内容
ア 地域の医療・介護の資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関・介護事業所の分布、機能を把握し、マップ又はリストの作成 ・在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等の調査・結果を関係者間で共有、住民に周知 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療介護資源マップへの登録数：清須市内施設 220 か所 (H30.7 現在) ●生活支援コーディネーターによる地域資源把握とリストの作成
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●清須市地域包括ケアシステム推進委員会 在宅医療・介護連携推進部会 ●尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会 ●データ分析による課題の抽出
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（多職種研修会、清須市オレンジサポートチーム）
エ 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パス等の情報共有ツールや情報共有の手順を定めたマニュアルを活用し、地域の医療・介護関係者間で、事例の医療、介護等に関する情報の共有を支援（電子連絡帳） 	<ul style="list-style-type: none"> ●患者登録数 13 件（H30.7 現在） ●関係機関へレインボーネットの啓発 ●2 市 1 町統一の利用規約と手引き
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療サポートセンターの設置
カ 医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催 ・地域の医療・介護関係者が、多職種連携の実際等についてグループワーク等の研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●尾張中部圏多職種連携研修 (H31. 1. 26(土)午後)。テーマはアドバンス・ケア・プランニング。 ●地域包括支援センターによる多職種やケアマネの研修会など ●各連絡会（事業所、ケアマネ）による研修会の開催
キ 地域住民への普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護サービスに関する講演会の開催 ・パンフレット、チラシ、広報、HP 等を活用しての、地域住民の在宅医療・介護連携の理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●医師会作成のパンフレットの活用 ●行政出前講座などの健康教育時に啓発
ク 二次医療圏内・関係市町村の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・同一の二次医療圏域内にある市町村や隣接する市町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会、ワーキング部会の継続